



理工学専攻電気電子工学コースの大学院生が 電気・情報関係学会九州支部連合大会において講演奨励賞を受賞

【概要】

理工学専攻電気電子工学コース修士課程1年の萱島 立樹 君が、2020年9月26日（土）～27日（日）にオンラインで開催された2020年度(第73回)電気・情報関係学会九州支部連合大会において連合大会講演奨励賞を受賞しました。

【本文】

理工学専攻電気電子工学コース 修士課程1年の萱島 立樹 君（指導教員：西山 英輔 准教授，豊田 一彦 教授）が、2020年9月26日（土）～27日（日）にオンラインで開催された2020年度(第73回)電気・情報関係学会九州支部連合大会において連合大会講演奨励賞を受賞しました。

電気・情報関係学会九州支部連合大会は、電気学会、電子情報通信学会をはじめとする電気・情報関係の8つの学会の九州支部が合同で毎年開催している学術講演会で、今回は九州地区の大学・高専等から約350件の研究発表がありました。この連合大会では、優れた研究発表を行った若手発表者を表彰する制度が設けられており、電気学会九州支部、電子情報通信学会九州支部、情報処理学会九州支部、IEEE Fukuoka Section がそれぞれの規程に沿って表彰を行っています。

連合大会講演奨励賞は、電子情報通信に関する学問、技術の奨励のため、有為と認められる新進の科学者または技術者に贈呈するもので、電子情報通信学会九州支部が優秀な論文を発表した電子・情報・通信の分野で活躍が期待される学生、若手研究者に対して、支部長名にて表彰しており、今回は8名が表彰されました。

萱島君は、平面アンテナと非線形マイクロ波回路を複合した高機能アンテナについて、新しい解析手法を提案して研究を行っており、今回発表した研究成果が高く評価され、受賞に至りました。今後の益々の活躍が期待されます。

○連合大会講演奨励賞

理工学専攻電気電子工学コース修士課程1年 萱島 立樹 君

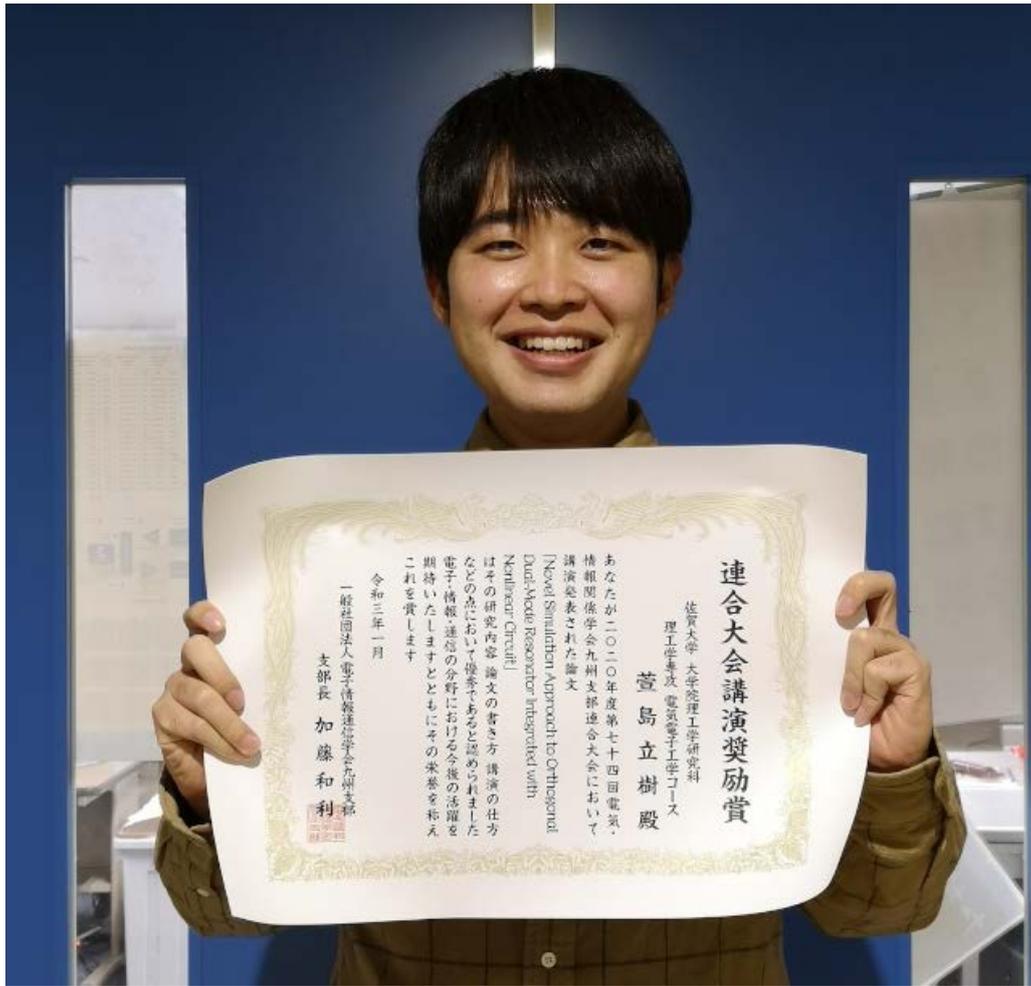
（指導教員：西山 英輔 准教授，豊田 一彦 教授）

題目：“Novel Simulation Approach to Orthogonal Dual-Mode Resonator Integrated with Nonlinear Circuit”

著者：Tatsuki Kayashima, Eisuke Nishiyama, and Ichihiko Toyoda

資料：Proc. of 2020 Joint Conf. of Electrical, Electronics and Information Engineers in Kyushu, 08-2P-02, Sep. 2020.

ホームページ：[電子情報通信学会九州支部2020年度連合大会講演奨励賞受賞者](#)



受賞した萱島君